

令和元年度「維孝館学園」クリエイト会議 第2回地域・広報部会まとめ

1. 日 時 令和元年9月2日（月） 19時00分～21時00分
2. 場 所 宇治田原町総合文化センター 研修室1
3. 出席者 柘植部会長 外 委員8名 事務局2名 計11名

4. 内容等

①部会長あいさつ

学校、教育委員会、保護者がいて、その場で問題を共有でき、その場で解決ことができる会議であること、また、会議自体がまわりの家族や近隣の方々に発信する大事な任務を担っている点が今までの会議と違う印象を受けた。

②自己紹介

前回欠席された委員から自己紹介

③前回の地域・広報部会のまとめ及び他の部会のまとめについて事務局より説明

④意見交流

○町広報紙「町民の窓」について

- ・町民の窓に別紙として色つきの紙で入っているのは良いと思う。また、いかに多くの人に見てもらおうかを考えたら、紙媒体が良いと思う。
- ・既に折り込みチラシは利用している。次は、クリエイト会議の募集のチラシはあったが、その後どう動いたか、どういう部会があるかという発信がないので、積極的にそういうチラシを入れていくべきでは？
- ・町民の窓をとっていない人もおり、どうすれば町民の窓をもらえるか知らない人も多い。
- ・本紙の記事は読むが、別紙として入っている方は見ない。
- ・読む側は色々なバリエーションがある。発信する側は想定して、折り込みも良いし、隣接型もしくは一体型にするという議論に進んだ現状では、クリエイト会議自体が本紙の部分に入ってもいい議題であると思うので、両方で発信すべきだと思う。
- ・2024年度に統合ということ町民の窓の本紙に載せて、細かい進捗状況を別紙で入れると良いのでは？
- ・維孝館学園についてホームページ（HP）に載っていない。その辺りをきちんとし、

さらにそこに誘導させるには町民の窓が大事である。

○対象者について

- ・若い世代に向けて保育所、幼稚園には配っているのか？
- ・転入時に配布する資料の中に（小中一貫に関するチラシ等を）挟んで、ニュアンスだけでも伝えることはできないのか？
- ・宇治田原に引っ越してきてもらうためのPR誌に、小中一貫の取り組み、この先の予定などを入れることができれば大きな助けになる。
- ・転入の判断材料となるので、古い情報ではなく、サイクルを早くしないと転入する判断がしづらい。
- ・転入前の方であればPR雑誌やHPで小中一貫がどのように進んでいるのか、転入後の方については小中一貫がどのように進んできたかについて、また今後のスケジュールも知らせてあげると良いと思う。
- ・現何年生が（一体もしくは隣接の校舎に入る）対象になるのかわかってない方が多いので、その方たちに向けて発信するのが良いと思う。現在保育所へ通わせている世代が一番関わってくるが、その方々がこの部会にいないので広報が大事。「どの年代の方が関係してきます」というのがあった方がわかりやすい。
- ・今までの経緯は、一貫教育を現在享受している受益者の保護者を中心に発行しているが、スケジュールが示され、ようやくどの学年に影響してくるかわかったところである。今幼稚園や保育所に通わせてる世代よりも前の世代に発信する手段がなかったのと、そこまで興味を持ってくれる状況ではなかった。
チラシを子育て支援センターに置いてあっても、みんなが行く訳ではないので、3歳児健診や予防接種の資料、案内と一緒に配布するなど、そういう機会を活用しないと周知は難しい。
また、現4年生以上も、一体型もしくは隣接型になる前の移行期であり実際には影響を受けていることを認識してもらうことが大事である。
- ・家庭教育セミナー（11月）に資料でも置いてもらえれば良いのでは？

○ホームページ（HP）・学校だより等について

- ・HPにアドレスを載せて、「ご意見がございましたらこちらへ」というような、意見を吸収できる、双方向的なことをする必要がある。
- ・行政や、学校の一体型（隣接型）に関わっている団体が、「問い合わせや質問はこちらまで」というように整備していることを見せるのも大事である。
- ・保護者の思いを言う場と吸い上げる場がないまま小中一貫が進んだことがまずかつ

たと思う。

- 学校だよりの中に方向性が見えるものを発行していくことはできないのか？「スケジュールについて」、「維孝館学園とは？」などを校長先生のスタンスで書いてもらうことはできないか？
- 小中一貫については連携の段階からかなり具体的に取り組みを載せているが、スケジュールは載せていない。
小中一貫に向けた取り組みとして記事にしているが、受け手側にそれが一貫に向けた取り組みとして受け止めてもらえていなかったのは反省している。
- なぜ一貫にするのか伝わっていないから、取り組みについても意図が伝わらないのでは？単に交流しているとしか思われていない。
- 行政ならHPなどで質問を受け付ける場を設けられるが、学校の中で保護者が質問できる場がないので、例えば連絡帳の中でもいいので、「質問くださいね」という発行ができれば良いのでは？
- 現状では3校それぞれにHPがあり、それぞれに維孝館学園のHPの入口がある。それを維孝館学園というHPを入口にして、そこから各小中のHPや、クリエイト会議のページがあれば良いと思う。このページが充実すればヒットが上がり、発信力が上がる。
- クリック回数が増えると最後のページまで行きにくい。維孝館学園という大きな取り組みなので一番大きな文字でも良いくらい話題である。
- 色々な調整が必要で、3校であるからこそ相談しながらでなければできないこともある。相談することでメリットもあるが、小回りが利かない、誰が責任を持つか、内容を教育委員会にも確認してもらわないといけないなど、誰がどのようにするか検討しないとイケない。
- 時間的、人的な問題があるのであれば、ビジュアルにこだわらず文字だけでも出して、そこから見られるようにすると良いのでは？
- 文字だけでもということであれば、現状で考えられる方法として、保護者宛にHPをアップしましたというメールを送るのも1つの方法かもしれない。
- ご意見いただいた中ですぐにできるものは取り組みたいし、今まで出してもらった資料を見やすくしてクリックしたら見られるようにしたいと思う。また、2次元バーコード、HPの充実以外でも、興味を持ってもらうきっかけとして、PR動画を作って例えば公共施設で流す、式典で保護者の方が待っておられる時間に流すなど、目で見てわかるようなものがあると良いのでは？と思った。
- 将来的には、放送に関わる係や、生徒会役員にデザインしてもらったり、カリキュラムとしてどこまで可能かはわからないが、授業の中で議論する機会があっても良いのでは？
- あとは人的パワーで如何にクリアするかが問題と思う。

- 教育委員会として職員配置をしてほしいと人事部門に訴えていくことも必要では？
教員1人がする仕事ではないので、人を配置するのが答えであれば、部会で決議を採っても良いと思う。
- 2小学校では合同学年会議、小小連携部会など、小中一貫を目指しての取り組みはしているが、それを具体的に広報しているかと言われればできていない。
- 作品展の一般公開の時間帯や、あゆみのフォーマット、宿題の様式など、両小学校でそれぞれ違うことを気にしている保護者の声を聞くが、それぞれの個性だからいいのではという意見もあれば維孝館学園であれば統一したらいいのにといい意見もある。「それぞれの特色を活かしてます」、「今は過渡期ですから・・・」などと説明ができるが、現状では親が言いつ放しで学校が回答する機会がないので、ぜひ発信して行ってほしい。